



2016. 12

No.16

認定 NPO 法人 C.P.I 教育文化交流推進委員会

発行所: C.P.I.スリランカ事務所

Mahindarama Road, Etul-Kotte, Kotte, Sri Lanka

日本本部: 東京都三鷹市中原 2-16-9 Tel: 0422-49-3808

E-mail: cpimate@gmail.com

URL: http://www.cpi-mate.gr.jp

ホームページ <http://www.cpi-mate.gr.jp> URL English <http://cpimate.com>

『将来の希望』のために、私たちは頑張っています

里子たちの生活と教育環境を詳しくお伝えします



現地の教育施設の庭で談笑する教育里子たち

C.P.I.会長 小西菊文

私たちは、里子たちの将来の幸せのために、約 30 年にわたり、教育支援を行ってきました。スリランカでの教育里子の数は 7,000 人を超えました。

里子たちは、それぞれの環境の中で、自立し、家庭を持ち、あるいは母親となって、社会の一員として活動しております。

今も、490 人の教育里子が皆様に守られ、勉学に勤しんでおります。しかし、里親さんから、「自分の里子が、どのような教育環境におかれていて、将来どのような進路を進むのか、よくわからない」という声がよく聞かれます。過去に数回、お知らせしておりますが、今回、詳しく知っていただくため特集を組みました。

日下さんの詳細な調査報告です

スリランカの国情に詳しい、C.P.I.評議員の日下大器氏が同国における教育の実態を調査して下さいました。

日下さんは、ご自分でくさか基金を運営され、スリランカに教育施設を造る活動を続けています。また、同国の教育事情や社会データを、長年にわたり調査し発表されています。



里子への支援学用品

C.P.I.の教育支援の取組み姿勢

C.P.I.は、活動の目的を定款第 2 章で次のように定めています。

(1)「家庭経済や社会状況において困窮しながら優秀な学業成績をあげている子ども」として公平な基準に基づいて選考した中等課程以上の在学学生「教育里子」への教育支援事業を行う。(2) 当該国において海外協力団体が行う、困窮からの自立に取りくむ人々の職業または保健の教育開発等に対する、協力事業を行う。

寄稿 C.P.I. 評議員 日下 大器・淑子
編集 事務局長 山川 洋一

我々、C.P.I. の教育里親はスリランカやインドネシアの教育里子に教育支援を行っている。そして健全な里子達の健全な発展を願っている。しかし、この支援を続ける

ためには教育里子達の教育環境とその将来を承知しておくことは大変重要なことだと思われる。そこで、スリランカ国の教育について少々調べてみたのでお知らせする。

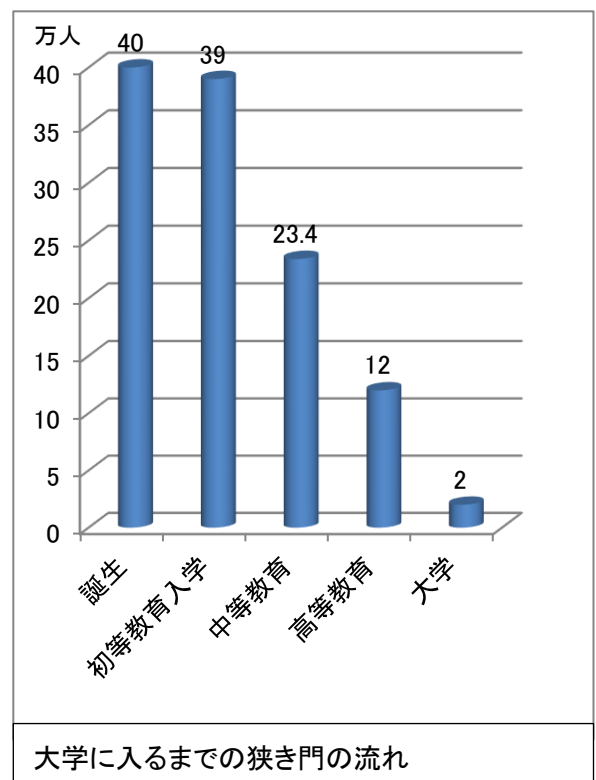
試験による進学コースの選択

スリランカでは一般に5歳で入学してから大学教育の前までは就学年数で1年生（5歳）から13年生（17か18歳）と数えている。この期間には重要な試験がある。それは5年生（9歳）の8月の奨学試験、11年生（15歳）の12月のOL試験、そして13年生（18歳）の8月でのAL

試験である。それ以後（19歳）の9月からの教育は大学、職業訓練校、また何等の施設も利用できないが大学卒業と同等の資格を取得できる試験を受験できる公開大学（Open University）等がある。

高い就学率と厳しい進学

スリランカでは毎年40万人が生まれる。5歳で約39万人が入学する。就学率は世界的に見て高い。11年生（15歳）の12月OL試験で受験性の約40%が不合格となる。そして大学生になる前のAL試験の合格者は12万人もいるが、そのうち19歳で大学生になれる人は2万人で、これは同世代の約5%である。そして大学の卒業生は1万数千人である。大学へは狭き門を通らねばならないし、しかも卒業するにはさらに狭き門を続けて通らなければならない。それで国は大学を新設して大学生の数を増やしている。



奨学試験のため学習塾に通う5年生

さて、5年生（9歳）の8月に全国の児童は一斉に奨学試験を受ける。合格すると奨学金が貰えるし、コロンボあるいは居住地域にある施設が良くて伝統があつて、教育レベルの高い有名校に転校することが出来る。そのため親は子供に金をかけてチュッシャン・パンティヤ（学習塾）に通わせている。この試験に合格し

て田舎を引き払い最大都市コロンボに転出したためかえって出費が増えたという親と、都会人として生きていくことが出来るようになったと喜ぶ子供がいて聞いた。しかし大概の場合はこの試験はあまり話題にならない。強いて聞いてみると子供が8-9歳になると盛んにチュッシャン・パンティヤに通わせたと親の期待はずれ

であったという話が多かった。実際には、合格数や合格後の待遇は国家予算の裏付けが必要なため、この国家奨学金の合格基準について、国民は誰も知らないようである。さらに調べていると、私が日本で接していた留学生はこの試験の合格経験者であった。私自身、試験合格者が転校できる、コロンボ

の有名校で、1回だけ教壇に立ったことがあった。確かに生徒たちは理解が早いので優秀な生徒が揃っていると思われた。そのうち一人は、その20年後アメリカでジェット旅客機のレンタル会社を経営している。先日そう聞かされて、エリート養成の成果として、むべなるかなと思った。

OL 試験(中学卒業試験)で進路が決まる

さて、11年生(15歳)の12月に全国一斉に行われるOL試験(Ordinary Level Test)というのがある。General Certificate of Education=普通教育履修確認試験で、日本人なら中学校(義務教育)終了試験と理解すればよい。高等学校の入学資格試験を兼ねる。受験科目は9科目(母国語、英語、数学、科学、地理、歴史、宗教、図工、芸術)これに第2外国語を加えた10教科の授業がある。第2外国語とは、シンハラ人はタミル語をタミル人はシンハラ語を指す。

試験の得点が100~75点ならA, 74~65点ならB, 64~50点ならC, 49~35点ならS(simple pass), 34~0点ならW(Weak)として評価されらWがなければ合格とみなされる。しかし英語と数学は必修で、ここ数年、数学が難しくなったと言われている。この試験の結果は翌年の7月迄に伝えられ、16歳の8月から12年生になる。試験後、約6か月間のブランクがあり、実務の勉強などしている。2016年の8月に12年生の女子学生に聞いたと



試験風景

ころ、クラス15人の内8人が合格したそうである。合格率は約53%となる。合格できなかった生徒は、実務学校か就職等の自活の道でも不利である。OL試験は人生の最初のふり分けとして重要視されている。

問題は、学校成績よくても9~10年生で勉学を諦める生徒が多く見受けられる実情があることであり、C.P.I.はそのような学生を支援してきた。(教育里子の合格率は平均85%)

AL 試験(高校卒業試験)で大学への進路が決まる

次いで13年生(18歳)の8月にAL試験(Advanced Level Test)がある。13年生全員が受験する。この試験はGeneral Certificate of Education: 高等教育履修確認試験として行われる。高等教育終了と大学進学適性審査を兼ねている。

この試験は受験生が文系(Art)なら国語が必修で他に歴史、地理、政治、経済等から2科目を選択して3科目受験する。商業系(Commerce)なら商業が必修で英語、会計、経済などから2科目選択して3科目。科学系(Science)なら



通学する高校生

英語、生物、物理、化学から3科目。理学系(Mathematics)なら英語、数学、物理、化学かの4科目で受験する。最近の新設科目は、技術学部(Technology Department)という分野である。そこでの受験科目は、英語、一般情報技術(General Information Technology)、工学技術(Engineer Technology)科学(数学を含む)(Science Technology)、情報技術(I T)の5科目である。

このAL試験は1日1科目であるから、試験が終わる迄には数日間を要する。その間、関係者以外は受験場の建物に近寄ることが禁じられている。

試験の得点が100~75点ならA, 74~65点ならB, 64~55点ならS(simple pass), 34~0点ならF(Weak)として評価される。ここで良い評価を得ようとチュッshan パンティヤ学習塾)へ行く。(1教室に1000人収容して1日5時間、先生はマイクロフォンを使用する。5教科なら毎日塾に行くことになる。これ以外に受講者が数人の家庭教師的な塾もある。いずれでも塾へ行くと教科がよく理解できると評判は良い。スリランカは、世界でも塾に通う率の高い社会である。



塾で勉強する学生たち



AL試験に合格すると、大学または、法律・会計・建築等の高等専門学校に入る。

AL 試験の得点が大学への進路を決める

コロンボ大学の医学部への入学者のほとんどの生徒はこの試験で受験全科目Aであったそうである。私達の友人が支援していた女子学生は2001年、文系で政治学B、経済A、国語Aでペラデニヤ大学の経済学部に入學できて、卒業後国家公務員になった。その人は2016年のある土曜日に政府の公用車に乗って私のところに会いに来てくれた。

また、2012年に文系(Art)で歴史C、国語A、地理Sだったので2013年に再受験して歴史B、国語C、地理Cだった女子学生は結局大学生とはなれず、国立職業訓練所に入學した。現在は日本の日本語学校に行き、日本の大学を希望している。そのためお母さんが150万円用意してくれているとのこと。

一方、私たちの友人が支援しているモラトゥワ大学の学生さんは理学系(Mathematic)を選んで英語S、数学A、物理B、化学Bで、いまでも頑張って通学している。



コロンボ大学

大学へは狭き門、入学決定まで一年のブランク

大学に入学が許可されるにはA L試験の成績のみならず大学の収容能力や国家政策等が勘案されて決まる。その結果、実際に大学生になれるのは同世代の人々の内わずか3-5%位だと聞いている。さてこの試験の成績は翌年の19歳の8月頃迄に知らされる。一応の決まりでは、その年の9月から大学生になる。

ところで、大学生になる迄にほぼ1年間の空白期間があることにお気づきと思う。この間に国内の大学進学に見切りをつけて、海外の大学を目指して出国する学生が多くいるようだ。再試験を目指して勉強をする者も多い。不合格または不本意な成績だったときの用意である。C.P.I.では、その最後の期間の支援をもって、奨学支援の修了としている。

卒業証書がない？

スリランカでは学校で授業を履修しても学校は履修証、あるいは卒業証書を出さない。O L試験でもA L試験でもそれらの試験結果が卒業証書である。人々は、この試験結果を

一生持ち歩いて、経歴に書いている。誰でも、聞いてみると、例えばBが1つあったがsimple passが1つ、それに数学がWeakだったと、恥ずかしがらず答えてくれる。

認定外の教育機関

これが概ねのスリランカの文部省が認める教育制度である。

これらの他にその文部省が認めていないインターナショナル・スクールがある。そこでは英語で授業をする。イギリスの教育制度に準じた教育もあり、100%英語で授業される。英国国内の大学生を目指す専門の学校だ。

また、忘れてならないのは、スリランカは多民族国家だということだ。国民の20%はタミル人で、彼らはタミル語を用いるが教育制度は同じである。言葉の壁を解決することは政府の急務である。紅茶栽培労働を担っている山間部居住のタミル人のためには、特別に



ピリヴァナ学校の少年僧

エステート学校と呼ばれる学校制度がある。

それから、シンハラ民族の仏教の寺のお坊さんは、出家した時点で、普通学校から転校し、出家人を専門に教育するピリヴァナという学校で高校まで学ぶ。但し、大学生になると通常の大学に行くことができる。

時代にニーズにあった大学と学部の新設

以上は小・中・高等の教育である。大学レベルの教育は1959年に仏教関係の1校が創設された。その後、一般人を受け入れる大学として1942年にセイロン大学、1959年にケラニヤ大学が創られた。このように大学は古くからあってその後、増加したが現時点では全人口に比して大学数は少なく収容学生数は同世代のわずか数%程度である。現在の大学名とその構成学部そして世界順位、収容学生数

をまとめておく。これらは総合大学であるが基本的には英国の教育制度に習ったものなので、官吏養成の傾向が強い。国民の生活を支える医学、農学、理学も学んでいるが、工業発展に繋がる工学系は少ない。これに応えるのか、最近出来た大学では電子工学を専らとする学科ができており、既存の大学でも、技術学部(Technology Department)という学部が新設されている。

1 クラス 35 人中 6, 7 人が受験する人気学部となっていると聞いた。一方、大学に通学しない公開大学の在校生が多いことは特徴的である。またタミル語で授業をするジャフナ大学も特徴的である。

大学よりさらに高等教育としての大学院はコロンボ大学に医学、パーリ語、仏教、考古学と経営学がそしてペラデニヤ大学に農学、理学があるのみである。だから外国の大学院を目指す大学卒業生は多い。

世界に飛び出して、培った能力を発揮する場を求める若者たち

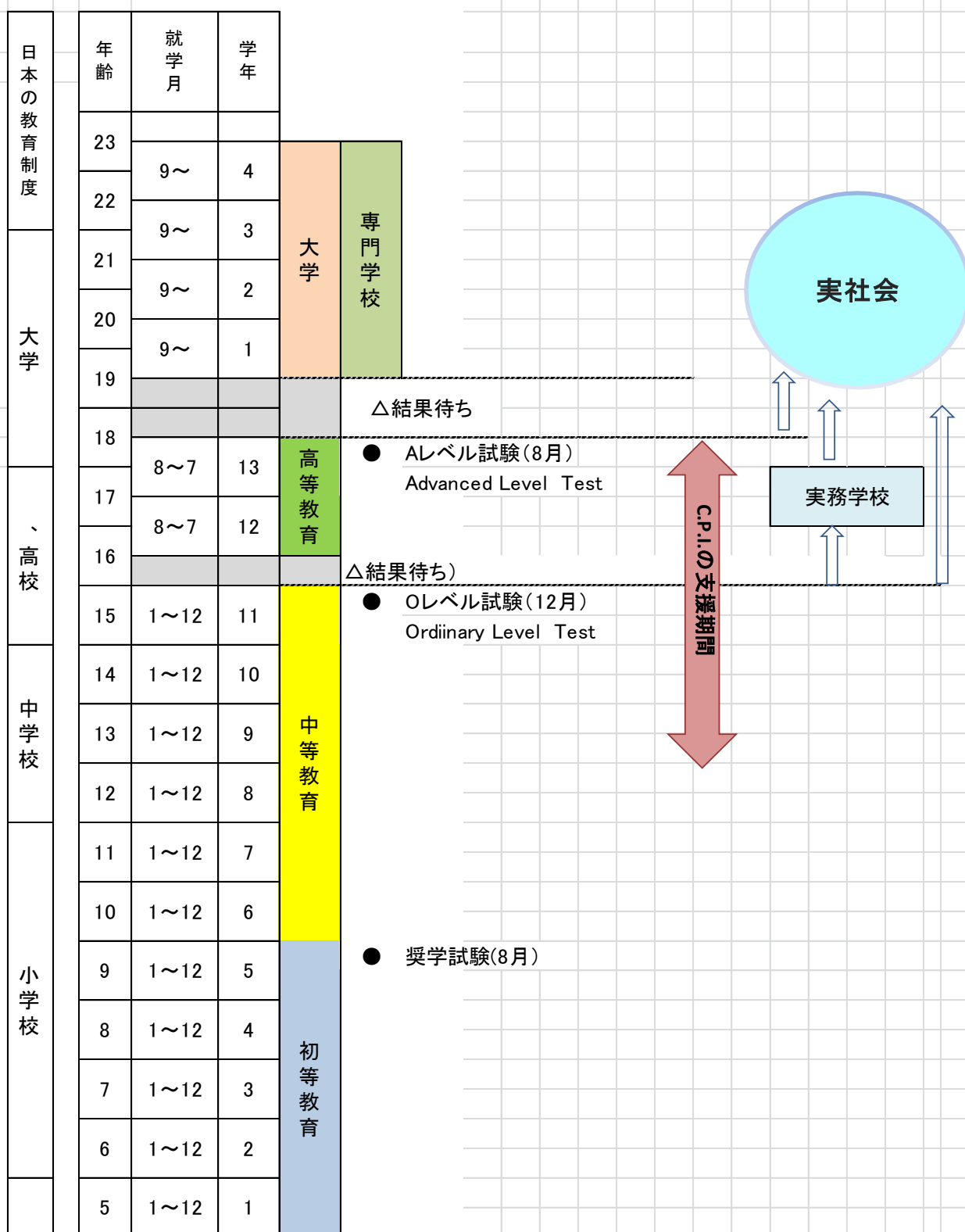
このように厳しい受験を経験している数少ない学生が、自分たちの明日の成功を信じて頑張っているのが、スリランカの教育の現状である。スリランカは中所得国であるとは言え、国外で育った留学生が帰って来ても彼らが力を発揮する場が整っていない。従って、世界のあちこちに散らばり母国の教育で培った能力を発揮しているようである。



本稿はスリランカ在住の C. P. I. 教育文化交流推進委員会に関係する方々及びその他、我々の友人が支援している学生達から聴聞して作成した。ご協力いただいた方々に感謝する。（日下）

スリランカの大学・学部一覧	設立年	学 部										学生数 2006年	順 位	
		人文	教育	法学	経済	医学	理学	農学	歯学	工学	社会		国内	世界
University of Colombo	1942												1	2, 146
University of Peradeniya 1)	1942											11, 445	2	2, 479
University of Sri Jayawardanapura	1959											8, 959	3	3, 091
University of Kelaniya	1959											9, 469	4	3, 194
University of Moratuwa	1972											4, 903	5	2, 497
University of Jaffna	1974											5, 981	6	7, 225
University of Ruhunu	1978											7, 211	7	3, 483
Southern Eastern University 2)	1995											1, 096		
Rajarata University	1995											2, 598		
Sabaragamuva University 3)	1995											2, 553		
Wayamba University 4)	1999											1, 857		
Uva Wellassa University 4)	2005											161		
University of the Visual and Performing Arts	2005	音楽・演劇・舞踏・視覚										2, 865		
Eastern University 4)	1981											2, 122		
Open University	1980											23, 922		
1) 獣医学科を有する。														
2) イスラム教研究学科を有する														
3) 測量学科を有する														
4) コンピューターを用いた研究をする学科を有する														

スリランカの教育制度と子供たちの進路



● Oレベル試験: Ordinary Level Test

全国共通試験で進級するか、実務学校に行くか進路が分かれる

● Aレベル試験: Advanced Level Test

全国共通試験。科目は選択制で得点によって、大学への進路が限定される。 2回の受験機会が与えられる。

スリランカの現代

子どもたちのスポーツ

スリランカの学校のグラウンドは日本のように広くはない。公営の公園や競技場も多くない。

そのような環境の中で、子供たちは色々なスポーツに励んでいる。

はつらつとした子供たちの姿を、スナップで紹介しましょう。

☆クリケットはスリランカの中では最も人気あるスポーツである。

少し広い空き地があると、必ずと言っていいほどクリケットで遊ぶ姿が見られる。スリランカは世界でも上位の位置にある。

この中から、国の代表選手が生まれることでしょう。



世界最強のクリケットは、国家的スポーツである
提供 <http://jscol.com/cricket.htm>

☆最近サッカーが盛んになっている。国の施設も増えて盛んになっています。

☆バレーボール

多くの屋外ゲーム場ができて、みんな楽しんでいます。



クリケットの応援も盛ん



校庭でドッジボールをする女子生徒

☆運動会の練習

春と秋の運動会は、子供たちにとって最高の楽しい行事です。



☆スリランカは全土が海に囲まれています。

プールが設備されている学校は少ないですが、子どもたちは海でスポーツを楽しんでいます。

